

II 教科の問題に関する結果

1 小学校

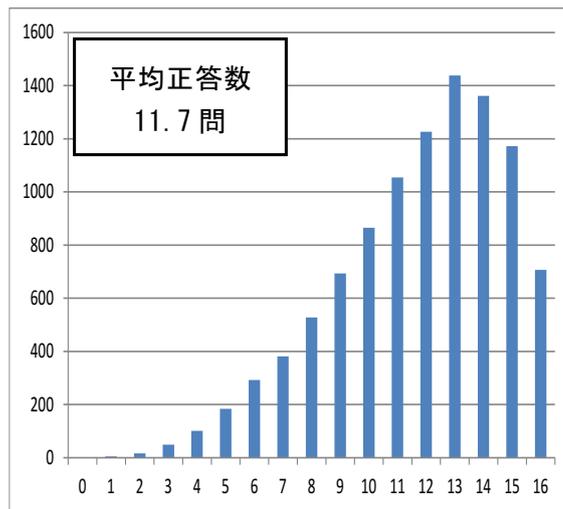
(1) 国語

【第5学年】

| | |
|-------|----------|
| 実施児童数 | 10,073 人 |
| 設問数 | 16 問 |
| 平均正答率 | 73.2 % |

| 分類 | 区分 | 対象設問数 (問) | 県全体正答率 (%) | |
|-----------|--------------|--------------|---------------|------|
| 学習指導要領の内容 | 知識及び技能 | 9 | 77.4 | |
| | 思考力・判断力・表現力等 | 話すこと・聞くこと | 3 | 77.3 |
| | | 書くこと | 1 | 41.4 |
| | | 読むこと | 3 | 67.2 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 9 | 77.4 | |
| | 思考・判断・表現 | 7 | 67.9 | |
| 問題形式 | 選択式 | 14 | 75.2 | |
| | 短答式 | 1 | 77.8 | |
| | 記述式 | 1 | 41.4 | |

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))

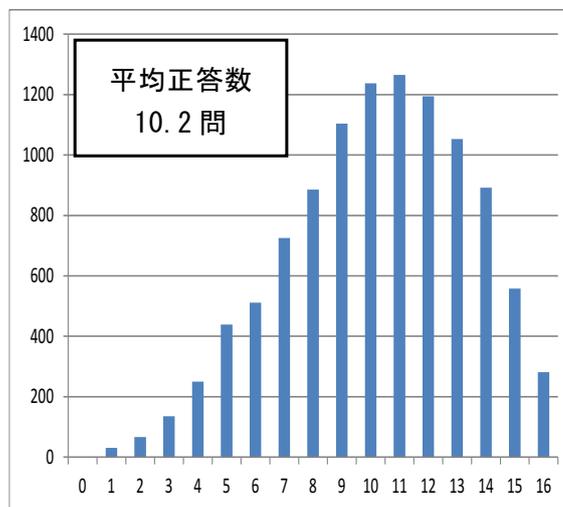


【第6学年】

| | |
|-------|----------|
| 実施児童数 | 10,627 人 |
| 設問数 | 16 問 |
| 平均正答率 | 63.8 % |

| 分類 | 区分 | 対象設問数 (問) | 県全体正答率 (%) | |
|-----------|--------------|--------------|---------------|------|
| 学習指導要領の内容 | 知識及び技能 | 8 | 66.6 | |
| | 思考力・判断力・表現力等 | 話すこと・聞くこと | 1 | 57.5 |
| | | 書くこと | 3 | 48.9 |
| | | 読むこと | 4 | 71.1 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 8 | 66.6 | |
| | 思考・判断・表現 | 8 | 61.1 | |
| 問題形式 | 選択式 | 13 | 67.6 | |
| | 短答式 | 1 | 82.3 | |
| | 記述式 | 2 | 30.5 | |

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))



【結果から見られる成果（改善傾向）と課題】

- 文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめることについて、相当数の児童ができている。
 - ・和食と給食のよさを伝える際のまとめとして、適切なものを選ぶ。
(小6¹(4) : 87.9%)

- 助詞を正しく使うことについて、相当数の児童ができている。
 - ・「目的地にはバスより電車の方が早く着く。」という文の「より」と同じ意味で「より」が使われている文を選ぶ。(小6³(5) : 82.7%)

- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることについて、課題が見られる。
 - ・意見文の書き出しの工夫について述べているものとして、最も適切なものを選ぶ。
(小6²(1) : 49.8%)

- 自分の立場や意図を明確にし、メモをもとに自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。
 - ・<メモ>にある問題点についての解決方法を考えて書く。
(小5²(5) : 41.4%)

- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けて書くことについて、課題が見られる。
 - ・<コメント>の一部を基に、自分の文章のよさを書く。
(小6²(5) : 30.7%)
R3小6 全国調査(県平均) 35.8%
「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語 成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校5・6年生】

(小学校5年生)

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うことについて、改善傾向が見られる。

3 次の問いに答えましょう。

(1) 次の文の_____部の言葉を漢字に直します。正しいものを、次のアからエまでの中から一つ選びましょう。

今日はてんこうに恵まれた。

ア 典候
イ 転向
ウ 転校
エ 天候

(2) 次の文の_____部の言葉と同じ漢字が使われる文を、次のアからエまでの中から一つ選びましょう。

家の戸があく。

ア 会うのは次かいにする。
イ かい会式を行う。
ウ 工場の機かいを見る。
エ 商品のかい良を行う。

【正答】 (1) エ (2) イ

正答率： (1) 92.0% (2) 76.6%

【令和4年度全国学力・学習状況調査】 小学校6年国語 3 ア イ ウ

次の_____部ウを漢字で書いていねいに書きましょう。

運動が苦手な人もウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいいたいです。

次の_____部イを漢字で書いていねいに書きましょう。

そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを イはんせいしました。

次の_____部アを漢字で書いていねいに書きましょう。

南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子を アろくがして、各学級にしようかいいたいそうです。

三 鳥谷さんは、「文章2」を読み、習っている漢字がひらがなになっていた_____部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。

正答率 ア 65.6% イ 58.6% ウ 68.2%

国語 課題の見られる問題例 【小学校5・6年生】

(小学校5年生)

- 自分の立場や意図を明確にし、メモを基に自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。

2 (5) 田中さんは、次の話し合いに向けて、木下さんの<メモ>をもとに、サツマイモか白オクラのどちらかを選び、自分の考えを、書くことにしました。あなたが田中さんなら、どのように書きますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- サツマイモか白オクラかのどちらかを選び、<メモ>にある問題点についての解決方法を考えて書くこと。
- 解決方法は、自分たちにできることを考えて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、30字以上、50字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくまない。

◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

(正答例) (サツマイモをさいばいするのがよいと思います。草ぬきなどの世話が大変という問題については、) 草ぬきをする日や時間を決めたり、当番で順番したりすればよいと思います。(35字)
(白オクラをさいばいするのがよいと思います。さいばいがむずかしいという問題については、) 農家の方に教えてもらったり、インターネットで調べたりするとよいと思います。(37字)

正答率：41.4%

【誤答類型】 誤答 (54.5%) 無答 (4.1%)

(小学校6年生)

- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることについて、課題が見られる。

2

(5) 松本さんは、【コメントの一部②】をもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが松本さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 【意見文2】のよさを書くこと。
- 【意見文1】から【意見文2】に書き直した部分を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。

※入力した文字数は解答らんの下に表示されます。

(正答例) (わたしの文章のよさは、) タブレットを使うよさを伝えるために、自分の経験をもとに具体的に書いたり、自分とは異なる状況の人にとってのよさについても書いたりしたところです。(71字)

正答率：30.7%

【誤答類型】 誤答 (62.5%) 無答 (6.8%)

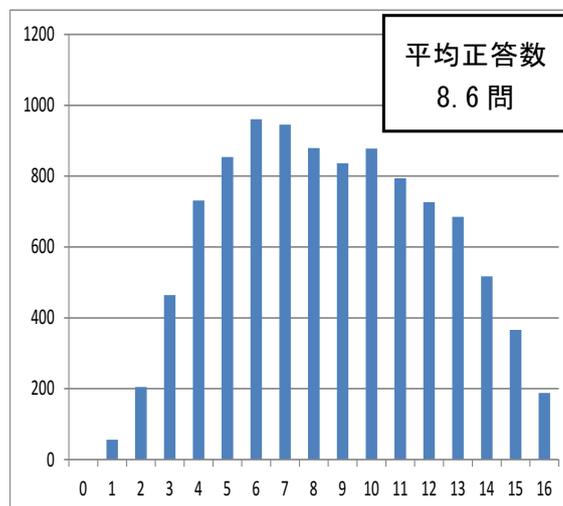
(2) 算数

【第5学年】

| | |
|-------|----------|
| 実施児童数 | 10,086 人 |
| 設問数 | 16 問 |
| 平均正答率 | 53.8 % |

| 分類 | 区分 | 対象設問数 (問) | 県全体正答率 (%) |
|-----------|----------|--------------|---------------|
| 学習指導要領の内容 | 数と計算 | 6 | 48.8 |
| | 図形 | 4 | 68.0 |
| | 測定・変化と関係 | 3 | 47.4 |
| | データの活用 | 3 | 51.5 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 10 | 59.9 |
| | 思考・判断・表現 | 6 | 43.7 |
| 問題形式 | 選択式 | 11 | 52.6 |
| | 短答式 | 5 | 56.6 |
| | 記述式 | 0 | |

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))

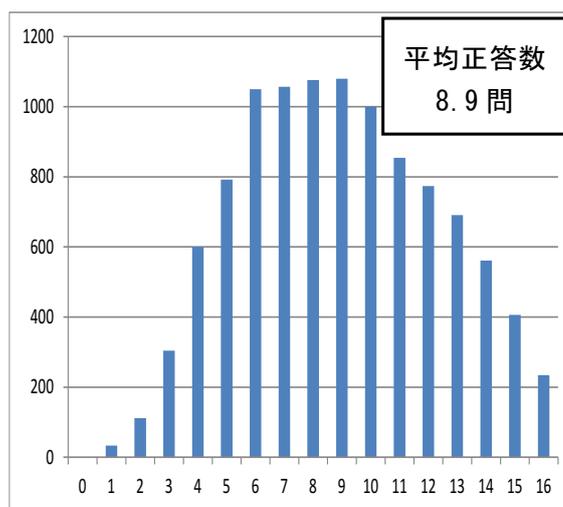


【第6学年】

| | |
|-------|----------|
| 実施児童数 | 10,625 人 |
| 設問数 | 16 問 |
| 平均正答率 | 55.8 % |

| 分類 | 区分 | 対象設問数 (問) | 県全体正答率 (%) |
|-----------|----------|--------------|---------------|
| 学習指導要領の内容 | 数と計算 | 6 | 63.5 |
| | 図形 | 3 | 62.7 |
| | 測定・変化と関係 | 5 | 48.0 |
| | データの活用 | 2 | 42.0 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 12 | 59.4 |
| | 思考・判断・表現 | 4 | 45.0 |
| 問題形式 | 選択式 | 11 | 59.0 |
| | 短答式 | 5 | 48.9 |
| | 記述式 | 0 | |

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:人数(人))



【結果から見られる成果（改善傾向）と課題】

- 基本的な四則計算の技能や数の仕組みを理解することに成果が見られる。
 - ・分数の乗法の計算をすること（小6 $\boxed{1}$ (3) : 79.3%）
 - ・分数の除法の計算をすること（小6 $\boxed{1}$ (4) : 80.7%）
 - ・ $(2\text{桁}) \times (1\text{桁})$ の計算をすること（小6 $\boxed{2}$ (1) : 88.3%）

- 二つの観点から分類整理されたデータを読むことに成果が見られる。
 - ・折れ線グラフのめもりを正しく読むこと（小5 $\boxed{6}$ (1) : 85.9%）

- 量が変わっても割合は変わらないこと（小6 $\boxed{2}$ (4) : 49.0%）
R4小6全国調査（県平均）19.4% 「数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること」

- 小数の減法・除法の計算技能に課題が見られる。
 - ・整数-小数の計算をすること（小5 $\boxed{1}$ (1) : 41.0%）
 - ・整数 \div 小数の計算をし、あまりを正しく求めること（小5 $\boxed{1}$ (2) : 25.8%、小6 $\boxed{1}$ (2) : 30.6%）

- 割合の内容を理解することに課題が見られる。
 - ・比較量と基準量を使って、割合を求める式を立てること（小5 $\boxed{5}$ (2) : 32.3%）
 - ・比較量が表す意味を理解すること（小6 $\boxed{4}$ (1) : 40.5%）
 - ・割合を理解し、もとにする量を求めること（小6 $\boxed{5}$ (2) : 23.3%）

- 平面図形の面積を求める方法等を説明することに課題が見られる。
 - ・台形の面積の公式を導くこと（小6 $\boxed{3}$ (2) : 27.6%）
 - ・複合図形の面積を求めるために、必要な長さを選ぶこと（小5 $\boxed{4}$ (3) : 46.9%）

- データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断したり、その結論について考察したりすることに課題が見られる。
 - ・グラフの目盛りに着目し、グラフを正しく読み取ること（小6 $\boxed{5}$ (1) : 37.9%）
 - ・それぞれのグラフが表す事柄を読み取ること（小6 $\boxed{5}$ (3) : 46.1%）
 - ・3つの折れ線グラフを見て、正しい情報を読み取ること（小5 $\boxed{6}$ (2) : 45.2%）
 - ・概数の処理の仕方を理解し、それを正しく用いた折れ線グラフを選ぶこと（小5 $\boxed{6}$ (3) : 41.3%）
 - ・複合型のグラフから必要な情報を読み取り、問題解決に生かすこと（小5 $\boxed{6}$ (4) : 23.5%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

算数 成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校5・6年生】

(小学校6年生)

○ 量が変わっても割合は変わらないことへの理解に改善傾向（継続課題）が見られる。

2

(4) 帰宅後、ハンバーグを作ったしょうたさんは、みかんの果汁が40%ふくまれている800mLの飲み物も準備することにしました。この飲み物を4人で等しく分けると、1人分は200mLになります。



800mL
果汁40%

→



200mL



200mL 200mL 200mL 200mL

しょうたさんは、200mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめました。

【200mLの飲み物に含まれている果汁の割合について】

200mLは、800mLの $\frac{1}{4}$ の量です。

このとき、

上のア)にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、番号で答えましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{4}$ になっても、果汁の割合は変わりません。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{4}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{4}$ になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{4}$ になると、果汁の割合は4倍になります。

【正答】 1

正答率：49.0%

【誤答類型】 2…43.2% 3…7.7%

【令和4年度全国学力・学習状況調査】小学校6年算数 **2**

正答率 19.4%

(3) リンゴの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



500mL
果汁20%

→



250mL



250mL 250mL

250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

上のア)にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

【正答】 3

算数 課題の見られる問題例 【小学校5・6年生】

(小学校5年・6年生)

● 小数の減法・除法の計算をすることに課題が見られる。

5年**1**

(1) $20 - 1.6$

ア 0.4

イ 18.4

ウ 19.6

エ 28.4

【正答】 イ

正答率：41.0%

【誤答類型】 ア…56.1%

5年・6年

(2) $75 \div 3.7$

(商は整数で求め、あまりも出しましょう。)

ア 2あまり1

イ 2あまり10

ウ 20あまり1

エ 20あまり10

【正答】ウ

正答率：5年…25.8% 6年…30.6%

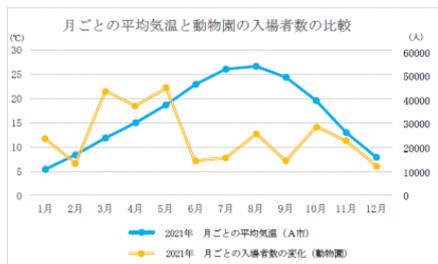
【誤答類型】5年 ア…35.4% エ…22.3% イ…16.0%
6年 エ…31.5% ア…21.8% イ…15.9%

(小学校5年生)

● 複合型のグラフから必要な情報を読み取り、問題解決に生かすことに課題が見られる。

6

(4) 入場者数の変化と気温の変化を比べたさくらさんとまさきさんは、自分の考えをそれぞれまとめました。□にあう言葉を選びましょう。



【まさきさん】

「気温」と「動物園の入場者数」を比べた結果、ぼくは関係が と考えました。理由は、 が一番高いのは8月だけど、 が一番多いのは5月だからです。

A の選択肢…ある ない

B の選択肢…3月から5月 5月から7月 7月から9月

C の選択肢…10 20 30

D の選択肢…ある ない

E の選択肢…気温 入場者数

F の選択肢…気温 入場者数

【さくらさん】

「気温」と「動物園の入場者数」を比べた結果、わたしは関係が と考えました。理由は、気温が高くなる の入場者数が30000人を超え、多くなっているからです。ただし、 をこえると入場者数がへっていたのでおもしろいと思いました。

【正答】 A…ある B…3月から5月 C…20 D…ない E…気温 F…入場者数

正答率：23.5%

(小学校6年生)

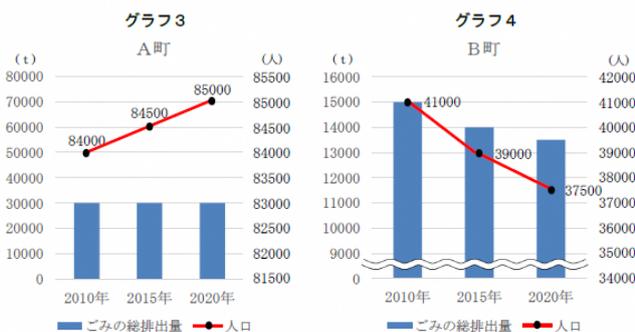
● 割合を理解し、もとにする量を求めることに課題が見られる。

5

(2) 2020年の1年間で、A町において1人あたりが出したごみの量を求めるための式を完成させます。□にあてはまる数を答えましょう。

人口について気になったふみかさんたちは、グラフ1、グラフ2に人口の折れ線グラフを加えたグラフ3、グラフ4について調べてみました。

÷



【正答】 $30000 \div 85000$

正答率：23.3%

【誤答類型】 $85000 \cdot 30000$ …24.2% $85000 \cdot 83000$ …9.3%